東北森林管理局におけるクマ被害対策パッケージ（概要）

- 東北森林管理局管内5県における人身被害件数は、全国の約6割を占める
- 政府が策定した「クマ被害対策パッケージ」を踏まえ、市町村からの要望・地域との連携を基本として、以下の3つの観点から取組を実施

人の生活圏とのすみ分け

- 多様な森林づくり
- ナラ枯れ被害対策
- 緩衝林帯の整備　等

地域との連携

- 緩衝林帯の整備
- 箱ワナや電気柵の設置へのフィールド提供　等

情 報 発 信

- 堅果類の豊凶調査及び情報発信
- 国有林の巡視と目撃情報の市町村等への情報提供
- 林業従事者の安全確保　等

東北森林管理局におけるクマ被害対策パッケージ①

人の生活圏とのすみ分け

緩衝林帯の整備

◆ 下刈、除伐等を実施し、クマが身を隠しづらい、明るく見通しの良い林内に

◆ 民家や公道等に接している造林地において、優先的な実施を検討

ボランティア活動による緩衝林帯整備を調整

多様な森林づくり（針広混交林や広葉樹林への誘導）ナラ枯れ被害対策

◆ クマ等の野生鳥獣の生息環境の保全に向け、針広混交林や広葉樹林へ誘導

◆ ナラ枯れ被害の拡大防止に向けた防除等の対策を実施

地域との連携

箱ワナや電気柵の設置へのフィールド提供

◆ 市町村の要請に基づき、箱ワナや電気柵を設置するフィールドとして国有林を提供

◆ 箱ワナ設置について、手続きの簡素化等も検討

残渣処理設備設置へのフィールド提供

◆ 市町村の要請に応じて、森林管理署との協定締結などによりフィールドを提供

◆ ニホンジカの残渣処理設備（写真）の知見を活用

（イメージ写真）

東北森林管理局におけるクマ被害対策パッケージ②

情 報 発 信

堅果類の豊凶調査及び情報発信

◆ブナの開花や結実状況を引き続き調査し、その結果を公表

◆市町村へ情報提供し、クマの出没傾向や対策の参考に

林業従事者の安全確保 入林時の事故防止

◆請負事業体に対し、安全指導や実態に応じた注意喚起の強化

◆局ホームページへチラシ「クマに遭遇しないために」を掲載し各署でも配布することにより注意喚起を強化

国有林の巡視と 目撃情報の市町村等への情報提供

◆住民の生活圏と近接する国有林を巡視し、クマの出没を確認した場合には、速やかに市町村等へ情報共有

東北森林管理局HP

https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html

東北森林管理局パンフレット

「東北の国有林 令和８年度東北森林管理局の取組」

https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/topics/attach/260414.html